

みなさんは、どんな理由で 北海道大学に来ただろうか。

子供の頃はサッカー選手になりたかった。もう少しして研究者になりたくなった。

高校時代は懸命に勉強して、目標の大学に入った…。

子供の頃は医者になりたかった。中学の時はプログラマーに憧れた。

大学は親の勧める地元の大学に進学した…。

キャリアと人生を考える デザイン・シンキング・ ワークショップ

受講料
無料

そして今、これから、 何をやりたいだろうか？

進路に悩むのは、大学生だけではなくありません。大学院に行っても、就職しても、生きている限り、自分は何をやりたいのか、いかに生きべきか、いかに自分を活かすべきか迷い続けることでしょう。そんなとき、自分の進路を見つけ、何をしたいか見つけるための思考法があります。このワークショップでは、初日は北大の先輩で、起業、研究とそれぞれ違う道を選んだ方のお話を聞き、2日目は、スタンフォード大学で15%の学生が受講する、デザイン思考を活用したキャリアデザインの思考ツールを使って、自分の人生やキャリアを捉え直します。新年度を迎える前に進路やキャリアについて考えてみましょう。

ゲスト・講師



12日水

ゲスト：太田賢司さん

フレグランスインベーター/
株式会社CODE Meee
代表取締役

北海道大学大学院理学研究科化学専攻を卒業後、国内最大手の香料メーカーでフレグランスの開発に10年携わる。

2017年に香りのスタートアップ企業

CODE Meee (コードミー)を創業。

「香り × テクノロジー」を軸に、個人や企業に最適な香りを提供する事業に加え、音楽アーティストとのコラボレーションも展開している。MBA (経営学修士)、理学修士。



12日水

ゲスト：加藤知道さん

北海道大学
農学研究院
准教授

北海道大学農学部卒。鳥取大学乾燥地研究センター、筑波大で大学院生を、海洋研究開発機構、イギリス、フランスでポストドクを経て、北大で5年間のテニュアトラック助教の

後に、アラフォーで現職に着任。現在は気候変動と陸域生態系の関係について野外調査やコンピューターシミュレーションで調べる研究室を率いている。就職氷河期と大学院重点化で、同級生が大量に大学院に進んだ上に、アカデミックポジションが減らされた世代の典型として、なんとかサバイバルした半生をみなさんに紹介します。



13日木

講師：難波美帆

グロービス 経営大学院/
北海道大学院
アクティブラーニング 推進室

東京大学農学部・北海道大学理学院自然科学専攻修士課程修了。講談社編集者、フリーランスとしてサイエンスライター、編集者を経て、2005年より北海道大学科学技術コミュニケーション養成ユニット特任准教授、早稲田大学大学院政治学研究科准教授、北海道大学URAステーション特任准教授、同新渡戸スクール特任准教授、2016年より現職。科学技術振興機構、サイエンス・メディア・センターなど、大学やNPO、研究機関など非営利セクターの新規事業にプロジェクトマネージャーとして参加。科学技術コミュニケーション、対話によるイノベーション創発のデザインを研究・実践している。

日時 2月12日(水) 14:00-16:30・13日(木) 10:30-16:15

場所 北海道大学 高等教育推進機構S棟S5教室
札幌市北区北17条西8丁目

対象 北海道大学 学部生・院生・教職員
定員：25名

プログラム

12日(水) 14:00▶16:30 北大卒業の先輩ゲストトーク

北海道大学の卒業生で、現在香りのビジネスを立ち上げた先輩(化学卒)と北大研究者になった先輩(農学部卒)にそれぞれの進路についてお話し・対談していただきます。

13日(木) 10:30▶16:15 キャリアと人生を設計するワークショップ

新規ビジネスの創出や社会課題の解決に世界中で使われているデザイン思考を使って、あなたの人生の設計してみましょう。デザイン思考の考え方の基本がわかり、キャリアに迷った時に、自ら人生をデザインすることができるようになります。